

編 集 後 記

第9巻第2号がやっと出来上りました。欲をいえばもっとボリュームがあった方がいいのですが、本号も平均的な頁数になったのでほっとしております。

世はコンピューター時代といわれますが、本誌の原稿にもワープロによるものが現われました。前号の第9巻第1号に1篇あったのが最初で、本号にも1篇ありました。その原稿のフロッピー・ディスクを一緒に出して戴くと、それを本誌を印刷している電算印刷さんの機械にかけて本誌用の印字に再生することが出来ます。こうすれば、速いし間違いもなくしかも安価に出来上るので大変好都合です。しかしフロッピー・ディスクが8インチでないと使えませんので、これからワープロで原稿を作る場合にはその点もご留意願えると幸いです。

前号の編集後記に記し、さらに本号の昭和58年度総会記録にもありますように、本誌の投稿規程の一部が変更になりました。その1つは、論文の種類に関係なくすべてに英文抄録(Summary)を付けることになったことです。またキーワード(key words)は前号から付けていますが、これを投稿規程に明文化いたしました。さらにカラー印刷は、従来は全額著者負担だったものが、半額著者負担になりました。なお英文抄録のチェックは今回からミシガン大学から外国人教師として来学したDavid M. Carlsonさんにお問い合わせることになりました。

今年の11月10日から電話番号が変わりました。市内局番が2桁の52になり、地方局番が4桁の(従来は5桁)0263になったことです。塩尻市内の場合はダイヤルをまわす回数が1回多くなりますが、松本市からの場合は市内局番だけでよいので簡単になりました。また東京などからは、従来は5桁の1の位が市内局番の10の位になっただけなので、今までとまったく同じです。

本号には第8巻と第9巻の4冊分の総目次が付録として付いていますので製本の場合などにご利用下さい。第10巻第1号の原稿は昭和59年4月末日が締切りです。多数の投稿を期待します。
(枝 重夫)

松 本 歯 学	第 9 巻 第 2 号	(非売品)
	1983年12月25日 印刷	1983年12月31日 発行
編集兼発行者	加 藤 倉 三	
発 行 所	松本歯科大学学会	
	399-07 塩尻市広丘郷原1780	電話 0263-52-3100
印 刷 所	電算印刷株式会社	
	390 松本市筑摩3270	電話 0263-25-4329